



# 第3回まちづくり講演会

「マーケットでまちを変える～人が集まる公共空間のつくり方～」

公益財団法人 前橋市まちづくり公社 まちづくり推進課

前橋市まちづくり公社の主催、群馬県と前橋市の後援による第3回まちづくり講演会が、令和2年2月26日(水)前橋テルサ9階つつじの間で開催されました。

近年の人口減少や高齢化社会の到来により、効率的なまちづくりが求められる中、将来への「持続可能なまちづくり」の推進に向け、これまでの行政主体であったまちづくりから民間活力を活かしたまちづくりへシフトする動きが各地で活発化しています。そのような中で、市民団体等が主体となったまちづくり活動の促進及び新たなまちづくりの担い手の発掘と育成を目的に、本講演会を開催したものです。当日は一般の方から行政関係者まで、80名の参加者が集まりました。

第3回目の開催となる今回は、O+Architecture(オープラスアーキテクチャー合同会社)代表社員、建築家でマーケット(市・マルシェ)専門家の鈴木美央氏を講師に迎え、「マーケットでまちを変える～人が集まる公共空間のつくり方～」と題する講演をしていただきました。

鈴木氏は、世界各国で建築設計等における大規模プロジェクトに携わり、建築家として活躍されるご自身のこれまでの経験から、公園や空き地・道路をはじめとする公共空間の活用ツールとしての「マーケット」の有効性や社会的効果に着目し、調査・研究をされてきました。

鈴木氏からは、マーケットの事例紹介とその効果、地域資源を活かした豊かなくらしの舞台としての公共空間のつくり方等について、資料を用いて詳細にご説明いただき、マーケットが地域経済を活性化し、雇用や観光資源を生み出すとともに、地域のコミュニティ形成に大きな影響と効果をもたらすことで、市民の生活の質向上や地域の価値向上の要因となる「地域の稼ぎ(地域経済付加価値)」を高める有効な手段であるとの話をいただきました。

鈴木氏の講演を通して、公共空間の活用が「くらし」を介して、「まち」と「個」を繋げるという考え方などは、参加者にとってとても参考になったことと思います。



鈴木 美央氏



まちづくり講演会の様子

